

# 「道の駅」道路情報提供スペースの高度活用による近隣住民と道路利用者との交流促進実験(新潟県小千谷市)

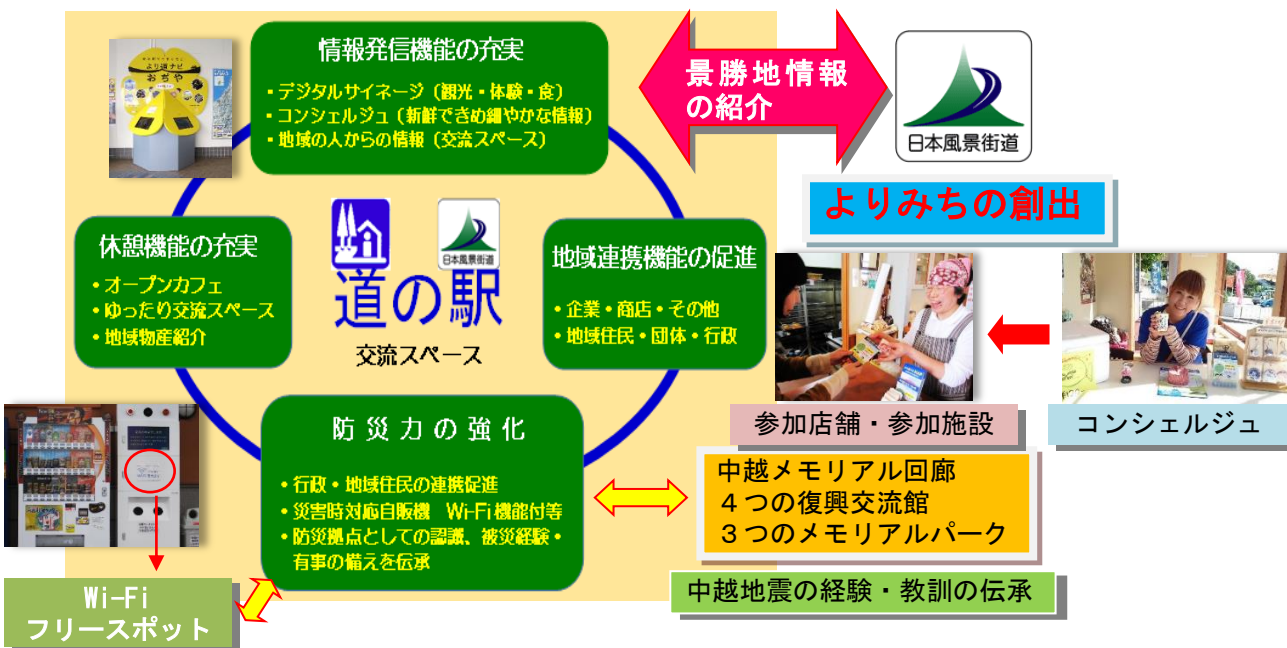
## 社会実験の概要

期間:平成26年9月12日(金)～平成27年3月27日(金)

内容:

道の駅に立ち寄る道路利用者にとって、有益で使いやすい情報を収集し、有効な方法で発信する。「情報発信基地」「防災拠点」として認識され、情報収集の目的のために立ち寄る人を増やし、小千谷市街地やその他の周辺で魅力あるスポットに人の流れを作り、経済効果を生むことが可能かを検証する。

- ①地域連携、交流による地域情報の収集・提供の仕組み作り
  - ②地域住民と来訪者との交流創出のためのスペースの拡充やコンシェルジュの配置
- デジタルサイネージを活用したタイムリーな地域情報の発信  
Wi-Fi付非常時対応自動販売機の設置

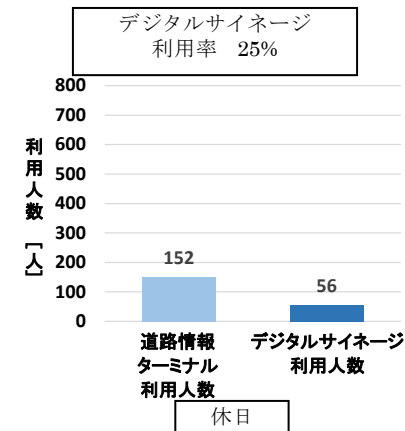
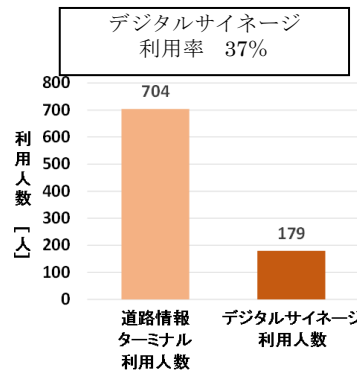
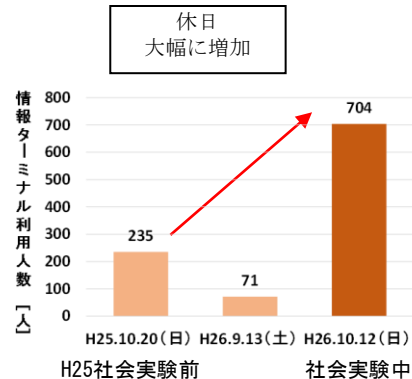
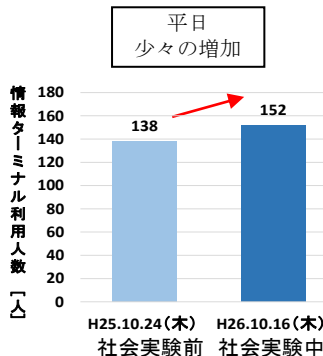


# 「道の駅」道路情報提供スペースの高度活用による近隣住民と道路利用者との交流促進実験(新潟県小千谷市)

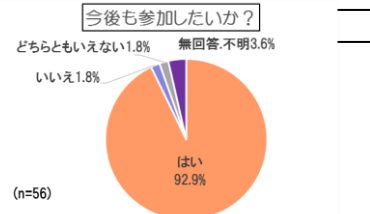
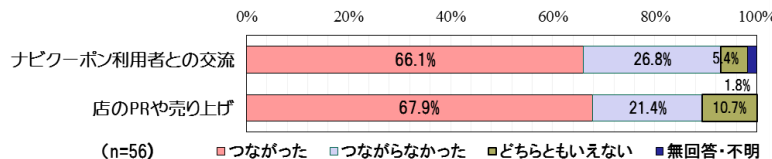
## 実験結果

・休日において、情報ターミナル利用人数は**大幅に増加**。  
→**コンシェルジュの案内による効果**であると考えられる。

・道路情報ターミナルを訪れた人のうち、平日で約4割、休日**で約3割**の人がデジタルサイネージを利用。  
→デジタルサイネージが**地域情報取得のために十分に活用**された。



### ナビクーポン利用者との交流、店のPRや売上げのつながり



・参加店舗の約9割が「参加して良かった」「今後も参加したい」と回答。また、約7割がクーポン利用者との交流、PRや売上げにつながったと高評価。  
→本実験が、**地元店舗・施設のにぎわいや活性化に寄与**したといえるのではないかと。

## 本格実施に向けた課題

- ・本社会実験では、道の駅利用者の満足度を高めるだけでなく、小千谷市内外の商店街等の協力が得られ、道の駅の情報発信機能の認知度も高めることが出来た。
- ・デジタルサイネージ、ナビクーポン、コンシェルジュの配置により、道の駅から街中へ人の流れを作ることにも成功したが、本格実施に必要なコンシェルジュの人員費については目途が立っていない。
- ・デジタルサイネージ参加店舗の参加費については課題が残された。
- ・今回の社会実験の有効性は実証されたことから、**今後は小千谷市等からの協力などの可能性を議論**していきたい。